平成２５年度事業報告書

航空宇宙産業クラスター拠点整備事業熱処理工場棟

公益財団法人　南信州・飯田産業センター

平成２５年度事業概要

平成25年度の国内経済は、安倍政権が進める経済政策、いわゆるアベノミクスによる金融緩和政策などにより円安、株高が進み、また、米国を中心とする海外経済が徐々に持ち直す中、輸出額も緩やかに増加しました。さらに、国内では公共投資が大幅に増加したほか、低金利、消費税引き上げ前の駆け込み需要などから住宅投資や個人消費が増加するなど、総じて緩やかな回復期傾向が見られましたが、一方で円安による原材料の高騰などにより厳しい状況が続いた業種もみられました。

また、長野県においては、平成24年度に策定した「ものづくり産業振興戦略プラン」（平成24～28年度）に基づき、引き続き健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通の３つの先端産業分野の推進を支援することに加えて、「産業イノベーション推進本部」を設置し「信州産業の再生」「次世代産業の創出」「国際戦略の拡充」を柱に据えて県内産業の底上げを図るほか、食品産業など伝統産業分野への支援を充実させていく方針を決定しました。

そうした中、当センターは飯田・下伊那地域の産業振興に当たる中核的な支援機関として、これらの状況を踏まえながら、今後進められるリニア中央新幹線や三遠南信自動車道などの交通インフラ整備を見据えて、新しい時代における当センターの在り方を検証する中で、ものづくり産業戦略のキーワードを「産業人材の育成」「高付加価値化の推進」「6次産業化・農商工連携の推進」「デザイン分野の可能性の探求」に絞り活動を展開しました。

新産業クラスター事業においては、航空宇宙産業分野において地域内の一貫生産体制の構築を図るため、国・県・市の支援を得て、松尾竜水工場適地に「航空宇宙産業クラスター拠点工場」の建設を進めるとともに、中京圏との連携を強め、サプライチェーンの一翼を担うことを目的に「アジア№.１航空宇宙産業クラスター形成特区」への参入の手続きを進めるなど、地域内での高付加価値化と他地区との競争力を高めるための取り組みを行いました。

また、健康医療産業分野では、健康長寿社会を支える新たな産業の創出を目指して産・学・官等の連携による「飯田メディカルバイオクラスター」を立ち上げ、「医療機器分科会」「食品分科会」による講演会・研修会やシンポジウム等の取り組みを行いました。

さらには、従来からの地域産業である各種地場産業についても様々な課題がある事を認識する中で課題解決に積極的に取り組みました。中でも、食品産業についてはリニア時代を見据える中でのあるべき姿を具体的に考えるためのプロジェクト会議の設置に向けた準備を進め、水引業界や菓子業界では「飯田市産業親善大使」を活用した取り組みを行いました。

また、当センターの主催により、デザイン分野の可能性と高等教育機関の設置について考えるキックオフシンポジウムを開催し、次年度から南信州広域連合や飯田市と連携して具体的な研究を進めていくことを決定しました。

公益財団法人南信州・飯田産業センターに移行して２年が経過しました。当センターは前身である飯伊地域地場産業振興センターから脈々と受け継がれてきた地域の産業支援機関の中核としての役割を踏まえつつ、今後進むリニア時代を見据えて、当センターの新た

な責務を検証する中で、伝統産業のさらなる発展を目指すとともに、新たな産業の創造を進め、全国にモデルとなるよう、引き続き地域社会や地域産業発展のための事業を推進してまいります。

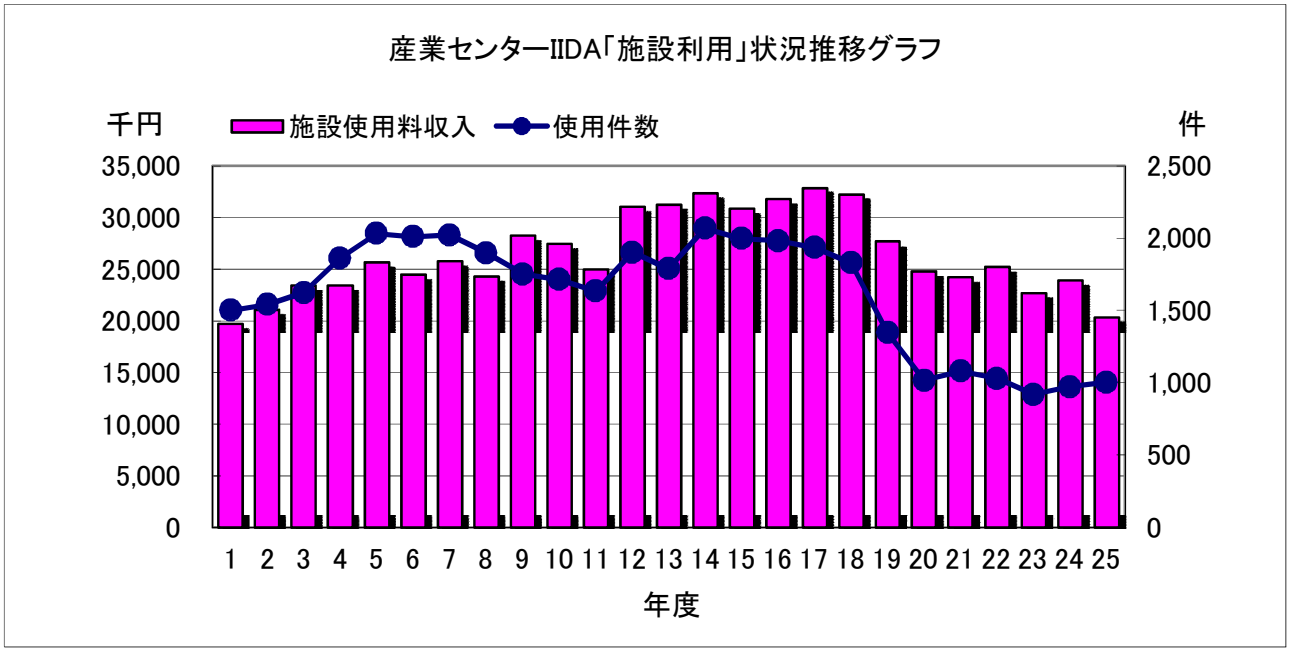
Ⅱ　事 業 概 要

１．施設利用事業

（１）「産業センターＩＩＤＡ」貸館事業

貸館事業は、前年度と比べて使用件数は微増となりましたが、使用料収入は前年度と比べ15%ほど減収の状況です。建築後３０年を経過し、什器・備品などの更新等により利便性と会議室の快適性を高めることが喫緊の課題となっています。

一方、産業技術大学等の人材養成事業、大学連携事業、産業クラスター事業等の産業振興事業目的での施設利用は増加の傾向にあります。このことは、当センターが定款の目的に沿って有効に活用されている事が窺えます。



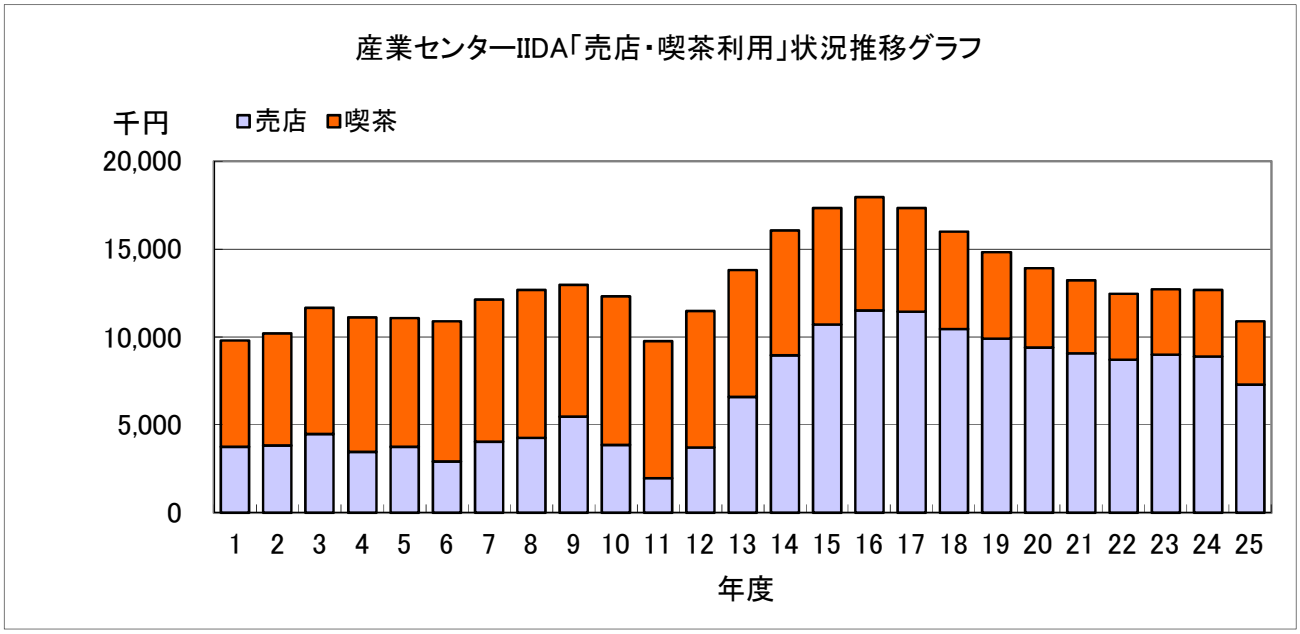
施設利用年度別利用状況の推移

年度	使用件数	入場者数	施設使用料収入(円)	年度	使用件数	入場者数	施設使用料収入(円)
元	1, 501	116, 420	19, 697, 163	14	2, 068	73, 990	32, 317, 377
2	1, 541	112, 282	21, 082, 684	15	1, 998	73, 092	30, 852, 900
3	1, 623	100, 535	23, 417, 654	16	1, 982	68, 225	31, 805, 844
4	1, 862	130, 967	23, 428, 761	17	1, 934	67, 407	32, 838, 760
5	2, 032	103, 329	25, 663, 835	18	1, 829	68, 632	32, 234, 160
6	2, 011	128, 214	24, 441, 005	19	1, 345	46, 683	27, 686, 966
7	2, 022	116, 997	25, 746, 139	20	1, 017	45, 355	24, 760, 105
8	1, 898	102, 995	24, 299, 752	21	1, 081	38, 948	24, 205, 033
9	1, 751	74, 269	28, 266, 485	22	1, 029	44, 079	25, 236, 284
10	1, 713	72, 886	27, 458, 192	23	918	45, 960	22, 680, 332
11	1, 634	71, 848	24, 965, 758	24	973	47, 511	23, 918, 876
12	1, 901	80, 859	31, 052, 707	25	1, 004	46, 739	20, 298, 108
13	1, 788	73, 223	31, 216, 362				

（２）売店・喫茶・展示室事業

平成 23 年度には前年比 2%売り上げが上昇しましたが、平成 24 年度以降売り上げの減少が続いています。平成 16 年度ピーク時の 60%程度の売り上げとなっており、地元の手土産製品の品揃えや宣伝に工夫が求められます。当法人としても増収に向けたサポートを積極的にしていきます。

また、引き続き地域産業の情報発信機能を高めた常設展示を充実させるとともに、お客様を招き入れる魅力ある店舗づくりを模索します。



売店・喫茶年度別利用状況の推移

年度	売店	喫茶	合計(円)	年度	売店	喫茶	合計(円)
元	3, 749, 354	6, 065, 712	9, 815, 066	14	8, 960, 376	7, 113, 263	16, 073, 639
2	3, 811, 740	6, 388, 572	10, 200, 312	15	10, 726, 588	6, 604, 289	17, 330, 877
3	4, 472, 295	7, 199, 857	11, 672, 152	16	11, 506, 225	6, 471, 476	17, 977, 701
4	3, 455, 305	7, 663, 620	11, 118, 925	17	11, 453, 982	5, 890, 438	17, 344, 420
5	3, 742, 895	7, 328, 064	11, 070, 959	18	10, 446, 672	5, 532, 643	15, 979, 315
6	2, 924, 735	7, 969, 072	10, 893, 807	19	9, 924, 580	4, 907, 551	14, 832, 131
7	4, 055, 981	8, 062, 191	12, 118, 172	20	9, 414, 192	4, 489, 200	13, 903, 392
8	4, 258, 950	8, 414, 452	12, 673, 402	21	9, 075, 368	4, 136, 165	13, 211, 533
9	5, 456, 515	7, 498, 621	12, 955, 136	22	8, 707, 724	3, 758, 240	12, 465, 964
10	3, 867, 001	8, 443, 445	12, 310, 446	23	8, 991, 046	3, 719, 070	12, 710, 116
11	1, 948, 684	7, 796, 392	9, 745, 076	24	8, 871, 399	3, 821, 550	12, 692, 949
12	3, 727, 830	7, 732, 047	11, 459, 877	25	7, 299, 287	3, 403, 080	10, 702, 367
13	6, 591, 516	7, 219, 090	13, 810, 606				

２．産業振興事業

（１）研究開発支援

飯田市環境技術開発センターの入居企業やその他の企業からの開発案件について、インキュベート委員会等において評価を行ってきました。その中で、技術的なアドバイス等が必要な場合には、共同研究の形で工業技術センターが支援しました。

（２）新製品開発支援事業（飯田市からの受託事業）

製品開発等を行う企業を募集し「ものづくり製品（試作）開発等支援補助金」を交付しました。

【支援事業】

〇車両向け緊急地震速報・広域動態GPS管理システムの提供
〇介護用ベッド補助具の開発
〇マルチコプター（ラジコンヘリ）による動画映像撮影機の開発
〇ナノ加工機を使用した高傾斜レンズの表面形状ナノレベル評価技術の開発

（３）需要開拓事業

販売促進事業

地場産品等を紹介した当センターのパンフレットの作成し、地域内外へＰＲしながら需要の開拓を図りました。

・地場産お花見フェア
　毎年の恒例事業として定着し、地元の食品や工芸品にふれあう良い機会となり地域での認知度も向上しています。
　期日：４月６日（土）～７日（日）　会場：南信州・飯田産業センター
・静岡・山梨・長野を結ぼう。～ぐるり、南アルプス！静岡キャラバン」
　期日：７月６日（土）　会場：静岡県静岡市青葉緑地
・いいだ人形劇フェスタ 2013
　期日：８月６日（木）～11 日（日）　会場：飯田中央公園
・南信州半生菓子フェア
　期日：９月 13 日（金）～14 日（土）　会場：ピアゴ飯田駅前店
・南信州売ってみまいか市（ふるさと手づくり弁当フェア）
　期日：９月 27 日（金）～28 日（土）　会場：ピアゴ飯田駅前店
・第 59 回風越登山マラソン大会
　期日：10 月 14 日（月）　会場：今宮球場
・食の縁結び！南信州うまいもの商談会
　期日：10 月 22 日（火）　会場：南信州・飯田産業センター
・南信州グルメサミット
　期日：11 月３日（日）　会場：りんご並木
・南信州売ってみまいか市（南信州牛フェア）
　期日：１月 24 日（金）～25 日（土）　会場：ピアゴ飯田駅前店

（４）地域ブランド構築事業

①販路開拓支援（海外）

飯田市の海外チャレンジ事業と連携し、海外における販売チャネル開拓のため、香港における南信州果実のＰＲ及びマーケット調査を行いました。

○香港「南信州果実のＰＲ及びマーケット調査」の実施

期日：２月 18 日（火)～２月 24 日（月）

②ブランド化の活動支援

○菓子ブランド化

飯田のお菓子の魅力を広く紹介いただくため飯田市産業親善大使（愛称：飯田菓子大使）に委嘱された、飯田市出身の演歌歌手「小沢亜貴子」氏の周知を兼ねたポスター・パンフレット制作を支援しました。また、昨年度に引き続き桜の開花時期にあわせて「南信州桜のお菓子」パンフレットを作成しＰＲを行いました。

○飯田水引

小椋ケンイチ飯田市産業親善大使（愛称：飯田水引大使・市田柿大使）と飯田水引協同組合との連携による試作品開発、チャリティアート展への出展、飯田水引デモンストレーション・飯田水引結い体験教室の開講等を長野県地域発元気づくり支援金を活用して行いました。

○つぶほまれ栽培・加工研究会の設立

民間企業、大学、県、市町村、関係団体等各界各層が一体となり、南信州地域での大豆つぶほまれの栽培、加工、販売のネットワークを構築するとともに、南信州ブランドの構築を目的とした研究会を設立し、南信州ロゴマークの選定、先進地への視察を行いました。

③南信州ブランド確立への取り組み

南信州ブランド推進協議会と連携し、地域ブランド推進のための情報交換や地域イメージ統一のための方向性を探る活動等を行いました。

○南信州ＰＲ用オリジナル紙袋の販売

○「南信州・飯田」風景写真集での南信州地域のＰＲ

④農商工連携の取り組み

○温泉とらふぐ養殖事業支援

遠山郷温泉水（塩化物泉）を活用した海産魚種（とらふぐ）養殖による新産業の創出とブランド化に向けた取り組みと支援を継続して行いました。

温泉とらふぐ試食会　於：シルクホテル　期日：７月３日（水）

遠州和（やわらぎ）の湯（陸上養殖）視察　於：遠州和（やわらぎ）の湯　期日：７月 25 日（木）

温泉とらふぐ養殖施設視察　於：㈱夢創造　期日：12 月 25 日（水）

温泉とらふぐ試食会　於：かぐらの湯　期日：２月 28 日（金）

○南信州茶の振興

㈱南信州観光公社との連携により、南信州茶摘みとお茶づくり体験ツアーを実施し認知度向上を図りました。

南信州茶の振興策について、県外の山間地での茶栽培の現状確認等、関係者による打合せを実施しました。

⑤出張相談会ｉ－Biz

南信州定住自立圏の中心市の産業支援機関として相談体制の充実を図るため、富士市産業支援センター（f－Biz）と連携を図り、製造業、サービス業、小売業、農林水産業等様々な業種や、起業家を対象とした出張相談会を開催し13件の相談対応をしました。

・９月21日（土）於：南信州・飯田産業センター　〔相談者　５団体〕
・12月７日（土）於：南信州・飯田産業センター　〔相談者　５団体〕
・１月11日（土）於：南信州・飯田産業センター　〔相談者　３団体〕

南信州ロゴマーク

⑥「デザイン分野の持つ可能性と高等教育機関の設置について考えるシンポジウム」の開催

デザイン分野の持つ幅広い可能性について確認し、デザイン系の高等教育機関設置を含めた今後の地域づくりにデザインをどのように生かしていくかについて考えるシンポジウムを開催しました。

（５）地場産業活性化事業

①各種地場産業団体、グループへの活動支援

各種地場産業団体等の活動を推進するため必要な支援を行いました。

②企業体質強化事業

○連携相談事業

クラスターマネージャー、工業技術センター長、インキュベーションマネージャー、信州大学飯伊産学官連携室コーディネーター等が連携し、総合的な人的支援体制をとりながら、企業からの相談に対応し、課題解決に向け継続的な支援を行いました。

③低炭素化を目指す企業活動支援

環境産業コーディネーターを１名配置し、飯田市工業課及び地球温暖化対策課と連携して、地域エネルギーとして有効活用が期待できる小水力発電の普及に向け小水力発電機を用いた実証実験を行いました。

（６）情報収集提供事業

主にE-mail、Faxを利用し、有益な各種情報を発信しました。

３．人材養成事業

（１）飯田産業技術大学

25年度も経済が停滞する中で、従業員の育成に力を注ぎ企業力のアップを図る動きがありました。また、地域企業立地促進等事業費補助金を活用した中核人材養成講座を開催し、企業負担の軽減を図ることができました。

企業から要望が多かった講座を中心に28講座を実施し、日数では92日、参加企業は174社、全受講者数は延べ830人が参加しました。特に、飯田技術専門校の協力を得て、汎用機を使用した加工技術講座を充実させることができました。また、特別講座において、信州大学による「特別の課程」１年コースをスタートしました。

会　　場：(公財)南信州・飯田産業センター及び長野県飯田技術専門校

○技術講座（計37日間・延べ受講者数219人）

機械図面基礎コース/測定基礎コース/3次元CAD「SolidWorks」入門・初級・中級・上級コース/機会加工初級（手仕上げ加工）／機械加工実践コース/普通旋盤・フライス盤初級コース

○経営管理講座（計18日間・延べ受講者数178人）

品質管理入門・初・中・上級コース/ISO9001内部監査員養成コース/ISO14001内部監査員養成コース/JISQ9100内部監査員養成コース

○特別講座（計37日間・延べ受講者433人）

ＱＣ手法を活用した製造現場の改善演習/再生エネルギー連続講座/ＢＣＰ実践セミナー/デザインセミナー／信州大学「特別の課程」１年コース

（２）成長産業中核人材養成講座（平成２５年度地域企業立地促進等事業費補助金）

三遠南信地域で取り組んでいる航空宇宙産業クラスタープロジェクトにおいて知識構築が必要な航空宇宙生産技術中核人材育成研修および非破壊検査技術研修、また様々な分野に利用されつつあるＣＦＲＰ（複合材）の技術者を養成するための研修会を実施しました。

①航空宇宙生産技術中核人材育成研修（12日間）②非破壊検査技術研修（１日間）
③CFRP（複合材）積層実習研修（２日間）　　（計 15 日間・延べ受講者 92 人）

飯田産業技術大学：デザインセミナー

成長産業中核人材：CFRP積層実習研修

（３）第１４回ＥＭＣシンポジウムＩＩＤＡ２０１３

ＥＭＣシンポジウムＩＩＤＡ２０１３では、「社会インフラにおけるＥＭＣ問題」について業界等で指導的な立場の方々の講演、また、講師の方々及び技術者間との情報交流会を行いました。シンポジウムの企画・運営は、地元企業が参加するＥＭＣ委員会が行いました。

テ ー マ：「社会インフラにおけるＥＭＣ問題」
期　　日：平成 25 年 10 月 24 日（木）～25 日（金）
会　　場：シルクホテル　２階　錦の間
参加者数：110 人
講演内容：
基調講演：「電動車とＥＶ充電器に関するＥＭＣ」
日産自動車株式会社　塚原　仁　氏
講演１：「自動車搭載用電子機器のＥＭＣ問題」
富士通テン株式会社　平林勝次　氏
講演２：「鉄道車両周辺の低周波磁界について」
公益財団法人鉄道総合技術研究所　長谷川均　氏
講演３：「民間航空機搭載機器のＥＭＣ試験の概要と試験事例」
多摩川精機株式会社　北原和仁　氏
講演４：「電気接点のＥＭＣ」　放送大学秋田学習センター　井上　浩　氏
講演５：「ワイヤレス電力伝送の安全性シミュレーション」
パナソニック株式会社　太田智浩　氏
講演６：「ＬＥＤ照明の現状とその課題」　日本照明工業会　平伴喜光　氏
講演７：「３０ＭＨｚ以下の放射妨害波測定」　北川工業株式会社　大橋良紀　氏

第１４回ＥＭＣシンポジウム２０１３

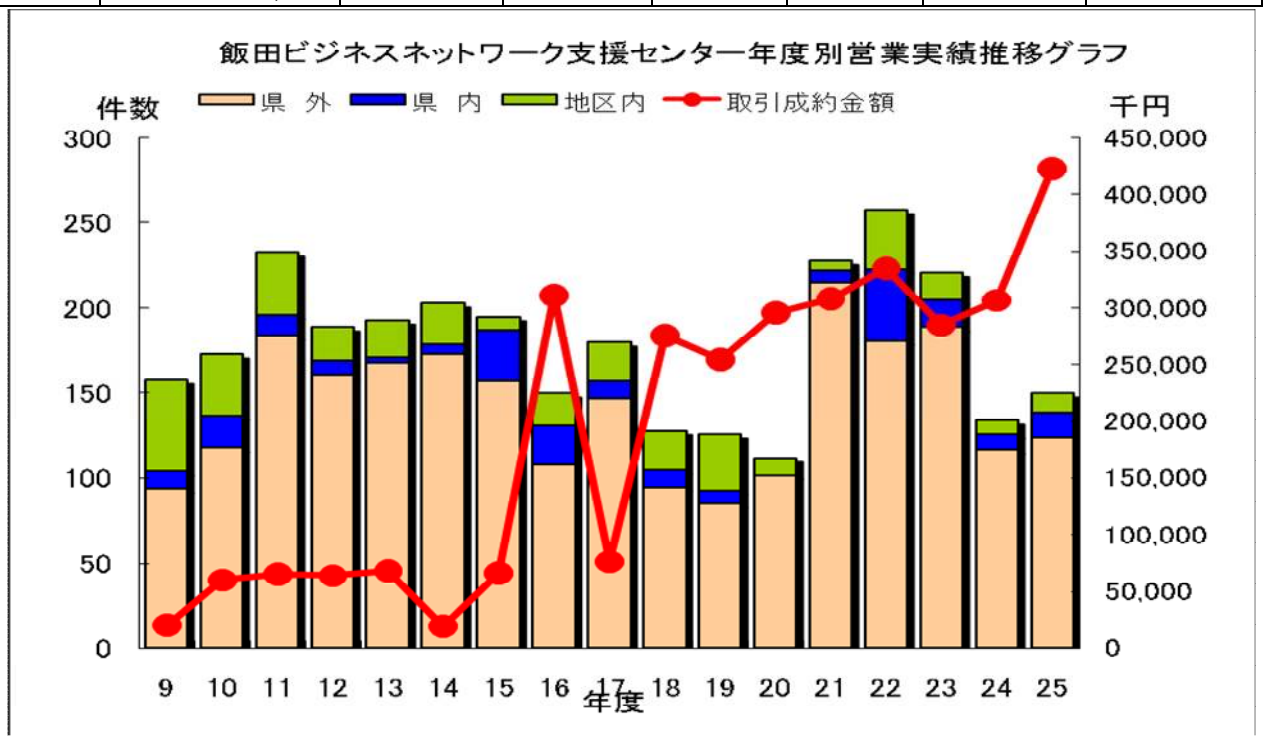
４．飯田ビジネスネットワーク支援センター

(1) 共同受発注事業

機械要素技術展など9展示会にネスク･イイダ名で出展したほか、会員企業の出展する展示会や商談会にサポートでオーガナイザーも同行、この地域の技術力等をアピールし、顧客の確保に努めました。昨年と比較して、引合件数、取引成約、成約金額ともに増加しました。引合件数の増加に比べ、成約金額が伸び率が大きいのは、部品加工から製品組立までの一連の受注ができたこと、また、関東経済産業局からの情報により大手企業との取引が実現したことが考えられます。

飯田ビジネスネットワーク支援センター年度別営業実績の推移

年度	取引成約金額(千円)	引合件数	県　外	県　内	地区内	取引成約	成約率
10	60, 255	173	118	19	36	33	19. 1%
11	65, 844	233	184	12	37	20	8. 6%
12	64, 136	192	161	8	20	22	11. 5%
13	68, 208	193	168	3	22	25	13. 0%
14	19, 628	203	173	6	24	45	22. 2%
15	66, 684	195	157	30	8	40	20. 5%
16	310, 764	151	108	23	19	18	11. 9%
17	76, 558	181	147	10	23	28	15. 5%
18	275, 642	114	95	10	23	30	26. 3%
19	254, 294	126	85	8	33	16	12. 7%
20	295, 453	112	102	0	10	38	33. 9%
21	308, 326	222	215	7	6	36	16. 2%
22	334, 768	223	181	42	35	52	23. 3%
23	284, 735	205	189	16	16	45	22. 0%
24	306, 641	126	117	9	8	47	37. 3%
25	442, 773	139	124	15	11	54	38. 8%



(2) 飯田下伊那企業連携製品開発事業

会員企業ネットワークを強化することで、「飯田下伊那独自の製品」を生み出していくための取り組みを行いました。

【主な開発案件】

ＰＪ名称		連携先 等
液体種菌接種機	新規	ＪＡ、種菌メーカー、きのこ農家
コンテナ自動供給機	新規	食品メーカー
小水力発電機	継続	科学技術振興機構、大学、ゼネコン
野沢菜漬菜葉折畳機	継続	食品メーカー
衝撃式美顔器・アクチェーター	継続	整骨院
ストレッチャー	継続	整骨院
インドアプレーン	改良	工業高校
ハンドベル	継続	
エコバイク	継続	

依頼主への納品を終え、一般への市販に向かう段階から、試作を終え、評価を行いながら今後の市販に向けた改良を行う段階など、それぞれの進捗状況は異なりますが、異業種との連携により、ニーズをシーズに変えて製品開発に取り組む流れは、新年度にもつながっています。

５．工業技術センター・ＥＭＣセンター

（１）工業技術センター

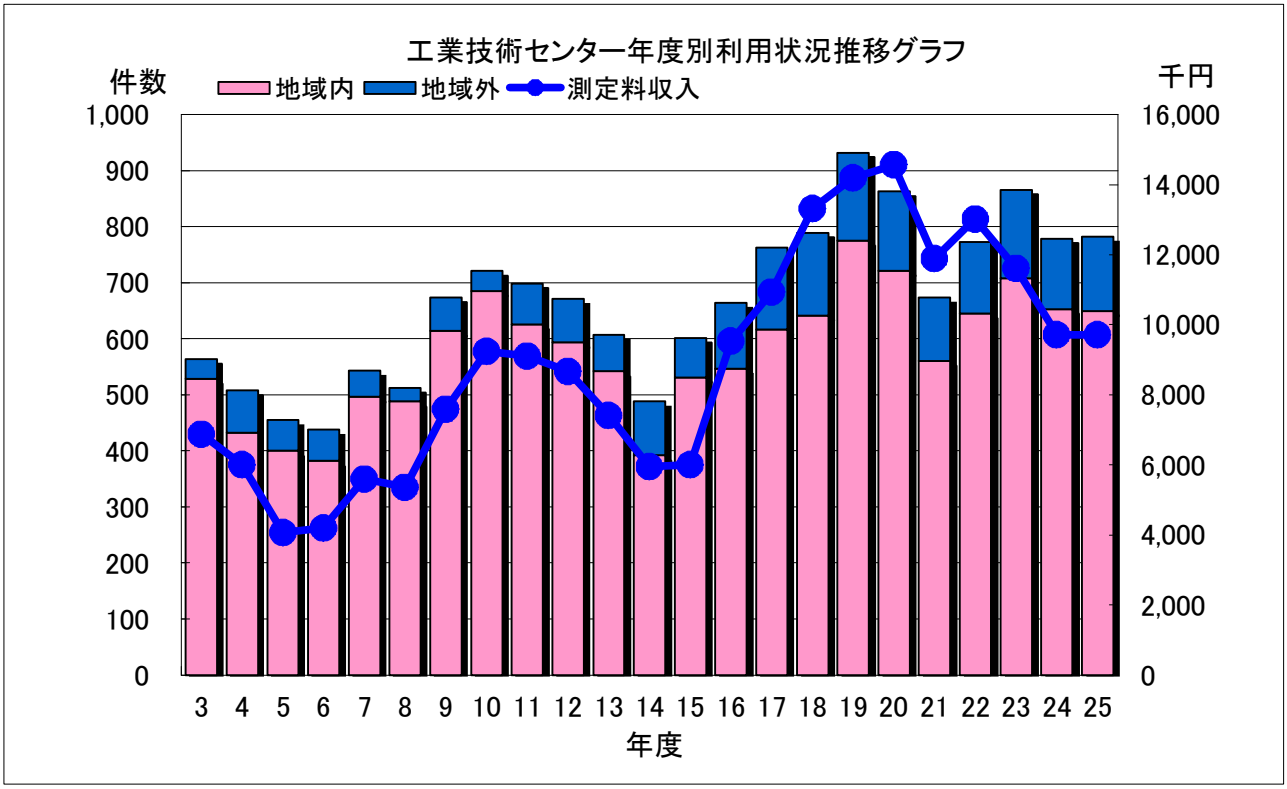
25年度は、前年度に対し地域外の利用件数が増え、測定料収入は微増しました。

収入には結び付かないものの、中核支援機関としての役割である新製品開発のための分析や技術相談には積極的に応じることができました。業務として不具合原因調査や事故解析、微量金属、有機物、樹脂などの定性、定量分析、金属・樹脂等の破断解析、さらには臭気やガス成分等と多岐にわたる分析・解析を行っています。

最近の傾向として不具合原因調査や事故解析等々の短期間に緊急を要する案件が多く、内容的には、微量金属・有機物・樹脂などの定性・定量分析、金属・樹脂等の破断解析、さらに臭気やガス成分等の分析依頼があり、機械金属分野だけでなく、混入異物や変色等といった食品分野でも利用されています。これらは走査型電子顕微鏡＆Ｘ線元素分析装置、ＦＴ－ＩＲ(フーリエ変換赤外分光光度計)、ＧＣ／ＭＳ(ガスクロマトグラフ質量分析計)等で分析し、原因究明及び対策を考える上で参考になる評価を行うことに重点を置いています。

特に、利用頻度の高い分析・解析分野においては、分析・解析精度の向上を図り、更に、利用企業の利便性を高めています。また、公的機関の役割である測定機器や電気計測器の校正業務においては、校正証明書や試験成績書の発行を行いました。

今後は、企業へセンターの業務内容の積極的な周知を行い、新たな利用企業の獲得に務めます。



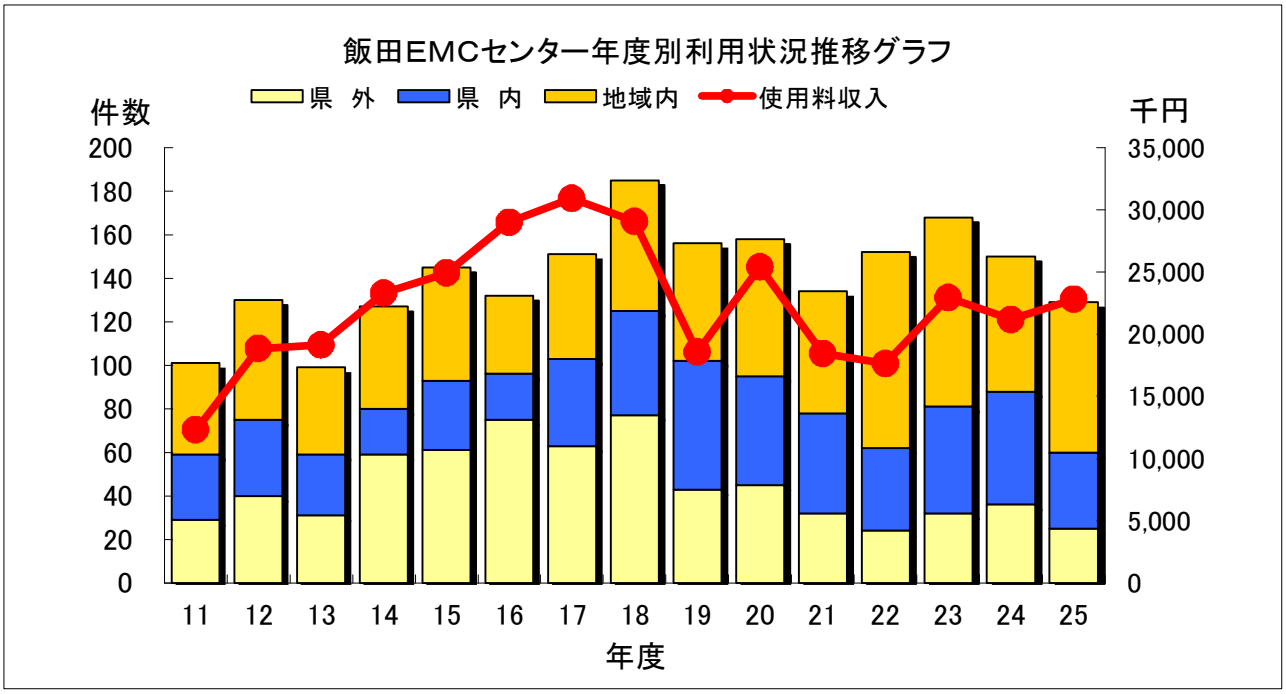
工業技術センター年度別利用状況の推移

年度	地域内	地域外	測定料収入(円)	年度	地域内	地域外	測定料収入(円)
3	529	35	6,872,047	15	531	71	6,004,105
4	432	76	5,999,244	16	547	117	9,530,230
5	400	55	4,058,817	17	616	147	10,926,385
6	382	56	4,194,572	18	642	147	13,310,805
7	496	47	5,593,445	19	775	157	14,192,410
8	488	25	5,354,318	20	721	142	14,562,665
9	614	60	7,581,930	21	561	112	11,889,370
10	685	36	9,239,201	22	645	128	13,013,615
11	626	73	9,101,935	23	708	156	11,607,660
12	593	78	8,664,980	24	653	123	9,707,550
13	542	65	7,408,560	25	650	132	9,709,030
14	392	96	5,944,465				

（2） ＥＭＣセンター

25年度は、前年度と比較すると、全体の利用件数は減少しましたが、測定使用料は増加しました。また、飯田下伊那の利用件数は増えましたが、県内、県外の利用件数は減少しました。試験評価としては、自動車関連の製品は一時的に減少していますが、新製品開発や旧製品の再評価の必要性から防衛機器や民間航空機RTCA-DOの試験が増えました。23年度に国の補助金等により新規導入や更新した試験機器が最新規格に対応したことにより、迅速且つ高精度な測定が行えるようになりました。

ＥＭＣセンターも開設以来１５年を経過し、試験機器の故障が増えて来ていることから、試験機器の更新や新しい規格への対応、他地域にない特殊な試験が可能な新たなセンターの方向性について検討を始めました。今後は、特に、使用頻度の高い試験分野へ機能を特化させ、試験機器の更新、新規導入を考えていきます。



飯田ＥＭＣセンター年度別利用状況の推移

年度	飯伊	県内	県外	合計	使用料収入(円)
11	42	30	29	101	12, 296, 894
12	55	35	40	130	18, 835, 613
13	40	28	31	99	19, 115, 219
14	47	21	59	127	23, 281, 082
15	52	32	61	145	24, 908, 820
16	36	21	75	132	28, 984, 704
17	48	40	63	151	30, 911, 757
18	60	48	77	185	29, 049, 161
19	54	59	43	156	18, 544, 548
20	63	50	45	158	25, 388, 460
21	56	46	32	134	18, 430, 305
22	90	38	24	152	17, 618, 425
23	87	49	32	168	22, 936, 222
24	62	52	36	150	21, 157, 010
25	69	35	25	129	22, 795, 505

６．新産業クラスター事業

支援体制を強化するために、地域連携マネージャーやコーディネーターを配置して、新産業クラスター形成をめざして、分野ごとの事業を推進しました。

（１）航空宇宙プロジェクト活動支援

①プロジェクト活動推進 全体会議（６回／年）

②ワーキングチーム活動（37回／年）

ＷＴ１（共同受注チーム）ＷＴ２（品質保証チーム）

ＷＴ３（ソフト研究チーム）ＷＴ４（難加工研究チーム）

③中核人材の育成支援（15回/年）

④共同受注開拓とＱＡ体制の構築

⑤国内外展示会出展等による営業活動

・フランス　【パリ・エアショー2013】　6/17～ 6/20

・シンガポール【海外ものづくり調査技術ミッション(テクノ財団)】2/10～ 2/15

・東京国際航空宇宙産業展　10/ 2～10/ 4

・テックビズＢtoＢ（名古屋）　10/ 9～10/10

⑥「アジア№.１航空宇宙産業クラスター形成特区」参画手続き支援

⑦航空宇宙産業クラスター拠点整備事業

《第１期工事「熱処理工場棟」》

■工事期間　平成２５年９月１７日～平成２６年３月２８日

■施工業者　吉川建設株式会社

■工事監理　一級建築士事務所　白子建築設計事務所

■建築概要　構　造　鉄骨造　（屋根：カラー鉄板折板葺き、外壁：ＡＬＣ）

規　模　地上２階　高さ１４．１７ｍ

建築面積　1,041.52㎡、延床面積　1,568.71㎡（1F 995.89㎡　・　2F 572.82㎡）

■フロア構成　１階　事務室・熱処理工場・金属試験室・電子ビーム溶接・試験室・トイレ

２階　事務室・会議室・Ｘ線透過検査・浸透探傷検査・磁粉探傷検査室・倉庫

《第２期工事「表面処理工場棟」　※現在建設中》

※経済産業省　「地域企業立地促進等共用施設整備費補助金（H24・H25）」

長野県　「航空宇宙産業育成強化支援事業補助金（H25・H26）」

飯田市　「航空宇宙産業クラスター拠点整備事業負担金（H25）」

（２）メディカルバイオクラスターの立ち上げと運営支援

①医療機器系・食品分科会（17回/年）

②シンポジウムの開催（２回/年）

③国内外展示会出展等によるＰＲ

・ドイツ　【COMPAMED2013(テクノ財団)】　11/20～11/22

・本郷の医療機器メーカーとのマッチング交流・展示会　2/17～ 2/18

（３）環境産業クラスターの活動支援

①専門家の派遣、大学・研究機関・支援機関との連携

②「自然エネルギー」セミナーの開催（４回）
③マイクロ水力発電の実証実験と開発支援

（４）製品（技術）開発等に関する活動支援
①専門家の派遣とアドバイス支援
②地域や行政課題等の情報を収集し、支援センターと連携し、企業へ提供
③各種補助金等の説明会及び相談会の開催

７．三遠南信連携事業（平成25年度地域企業立地促進等事業費補助金）

平成14年から国のネットワーク補助金を活用し、地域内のクラスター活動を重点的に展開してきましたが、国と地方の役割分担が言われる中、県境を跨いだクラスター活動を重点的に支援するような形に変わり、新たに三遠南信広域基本計画を策定し、５つの産業の集積を目指して、以下の広域的な連携事業に取り組んでいます。

以前は、セミナーを主体とした事業を展開しきましたが、近年では直接ビジネスに繋がるようなマッチング商談会を主とした事業を行ってきています。現在、他地域との広域連携が活発化してきており、実際の取引に至るケースもあり、徐々に実績として表れてきています。

この補助金事業は、９年間にわたり継続して交付いただきましたが、国の制度変更により平成 26 年度から廃止となり、今後、自立化が求められています。

（１）三遠南信地域ネットワーク強化プロジェクト（各クラスタープロジェクト共通）

（２）次世代輸送用機器産業クラスタープロジェクト
・新技術新工法展示商談会in刈谷　商談会事業

（３）光・電子産業クラスタープロジェクト

（４）健康医療産業クラスタープロジェクト
①健康医療産業クラスタープロジェクト広報事業
・三遠南信クラスター「部材供給・技術連携企業100社総力カタログ」の配布
②展示会事業
・第４回　関西医療機器開発・製造展「MEDIX」への出展

（５）新農業クラスタープロジェクト
展示会出展事業
・食農産業クラスターフェア（豊橋）

（６）航空宇宙産業クラスタープロジェクト
具体的な案件に対応するため、クラスターマネージャー、コーディネーターを配置
①三遠南信地域間企業交流事業
・仙台クラスターとの交流
・SOLAE（浜松クラスター）との交流、マッチング

②展示会事業
・東京国際航空宇宙展への出展
③航空宇宙産業クラスタープロジェクト広報事業（随時）
④人材育成事業（4講座）

（７）産業支援情報システムの構築
広域連携の推進、地域企業への情報提供等を目的に平成 22 年度に立ち上げた「三遠南信クラスターweb」の効果的な運用を行う。

８．南信州産業活性化事業

企業立地法(平成 19 年６月 11 日施行)に基づき、産業集積の形成または産業集積の活性化に関する新たな基本計画「南信州地域産業活性化基本計画」（平成２５年度～平成２９年度）が平成２５年４月１日に国の同意を得てスタートする年となりました。新たな計画に基づき、関係市町村による立地に関する会議・研修を行いました。

※南信州地域産業活性化基本計画（平成２５年度～平成２９年度）のポイント
南信州域 14 市町村ならびに県、産業支援関連機関等が一体となって、本地域において“強み”を発揮する産業である①「高度ものづくり産業」、②「地域風土密着産業」③「頭脳活用産業」の３つの産業を基軸とした既存企業の高度化ならびに新増設等の新たな企業立地や設備投資等を積極的に促し、本地域の産業活性化を図る。この実現のために関係各機関が受け皿整備、人材育成、事業環境整備を行う。

平成 25 年度南信州産業活性化協議会総会

日時	平成 25 年 6 月 13 日
場所	長野県飯田合同庁舎
参加者	飯田下伊那の市町村長、(財）飯伊地域地場産業振興センター理事長、飯田商工会議所会頭、県商工会連合会下伊那支部広域協議会会長、(財)県テクノ財団伊那テクノバレー地域センター会長
内容	平成 24 年度事業報告及び会計報告 平成 25 年度事業計画案及び予算案 南信州地域産業活性化基本計画について（報告）

第 1 回幹事会

日時	平成 25 年 8 月 26 日
場所	（公財）南信州・飯田産業センター２Ｆ　会議室
参加者	市町村の担当者、下伊那地方事務所
内容	南信州地域産業活性化基本計画について 今年度の取り組みについて 情報交換

第 2 回幹事会・研修会

日時	平成 25 年 12 月 24 日
場所	（公財）南信州・飯田産業センター２Ｆ　資料室
参加者	市町村の担当者、下伊那地方事務所
内容	幹事会 「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」について 情報交換 研修会 地域の活性化とクラスター活動 講師：(公財）南信州・飯田産業センター地域連携マネージャー　松島信雄氏 中小企業の人材確保・育成支援策 講師：関東経済産業局　地域経済部　産業人材政策課長　徳武身信氏

第 3 回幹事会・研修会

日時	平成 26 年 2 月 25 日、26 日
場所	（公財）南信州・飯田産業センター２Ｆ　資料室
参加者	市町村の担当者、下伊那地方事務所
内容	幹事会（25 日） 情報交換 研修会（25 日） 「企業立地・誘致の現状と課題」 講師：長野県東京事務所　産業立地推進役　益田耕一　氏 市町村の産業用地視察（26 日） 視察地：飯田市、豊丘村、高森町、松川町

第 4 回幹事会・研修会

日時	平成 26 年 3 月 20 日
場所	（公財）南信州・飯田産業センター２Ｆ　資料室
参加者	市町村の担当者、下伊那地方事務所
内容	幹事会 今年度の取り組みについて 情報交換 研修会 「21 世紀地域づくりへの視点」 講師：増田達夫　氏 エス・オー・シー(株)　取締役 名古屋商科大学大学院　客員教授